

研究機関：広島大学

研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬、BRAF/MEK 阻害薬を投与した悪性黒色腫患者における眼関連有害事象の発症頻度と病型について
研究責任者名	広島大学病院眼科 講師 原田陽介
研究期間	2021年10月4日(倫理委員会承認後)～2022年8月1日
対象者	2015年1月から2021年6月の間に、広島大学病院全科で悪性黒色腫に対する治療を受けられた患者さん。
意義・目的	近年、免疫チェックポイント阻害薬、BRAF/MEK阻害薬を投与した悪性黒色腫患者に眼関連有害事象の症例報告がみられますが、本邦では疫学研究についてはまだ解明されていません。今回、当院で治療歴のある悪性黒色腫患者において免疫チェックポイント阻害薬、BRAF/MEK阻害薬の投与群と非投与群における眼関連有害事象の発症頻度と病型を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、悪性黒色腫のStage、眼関連有害事象の有無、病型、全身有害事象の有無、発症期間、経過観察期間 です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院眼科 講師 原田陽介
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Tel: 082-257-5247</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 非常勤医師 佐田幾世 講師 原田陽介</p>